

坂下高校
賢・剛・優

深山樹祭(文化祭)

「MEMORIES」をテーマとして、8月29日(火)～8月30日(水)に、深山樹祭(文化祭)が行われました。夏休み中から準備を行い、各クラスの団結力や工夫を凝らした迫力のあるステージ発表や、素晴らしい展示発表が行われました。その他にも、ギター・マンドリン部のコンサート、茶華道部のお茶会、文芸部の部誌「空物語」の配付、家庭クラブの活動内容の展示、手芸部・美術部の展示発表、また、PTAによるバザーも行われるなど、それぞれの個性が表れたものとなりました。仲間と共に協働することによって達成感を味わうことのできた深山樹祭となりました。



坂下中学校
超升先輩

**自分を成長させる
体育祭**

9月22日(金)、体育祭を開催しました。今年度は人数制限がなく、多くの地域の方や保護者の方に応援の声をいただく中、熱気に満ちた体育祭となりました。生徒たちは、天候不順や体育祭の延期、学級で日々発生する様々な課題を解決し、仲間と共に高めあいながら乗り越えて、当日を迎えました。当日は、早朝から多くの生徒が会場準備に参加し、競技場を整えました。優勝目指し全力を出し切り充実感を得ると共に、一人一人が確かな成長を実感できる体育祭を創り上げることができました。ここで得た財産を今後の学校生活につなげていってほしいと強く願っています。



坂下小学校
ひとりだち

**心を一つにできた
運動会**

10月12日(木)秋のさわやかな空気の中で運動会を開催しました。「心を一つに みんなで協力～思い出に残る運動会にするために～」というスローガンのもと、赤団も白団も、団長を中心に練習から心を一つにして取り組みました。今年度は、全学年が集まった団席、全員が声を出しての応援合戦、全校競技の綱引きなど、久しぶりに取り組むことがたくさんありました。「がんばって。」「応援するよ。」など、1年生から6年生までが声をかけ合い、運動会ならではの経験がたくさんできました。多くの家族の方に観覧いただき、温かい拍手や言葉がけをもらって、児童たちも満足そうでした。



やさかこども園
かがやく瞳

祖父母参観日

9月15日(金)、祖父母参観日を開催しました。この数年はコロナ感染防止により開催できていなかったため、久しぶりの開催となりました。子どもたちは、おじいちゃん、おばあちゃんに来ることが嬉しくて、はしゃいでいる姿がありました。どのクラスも、おじいちゃん、おばあちゃんと一緒に園児の写真を使った壁飾りを作りました。園児たちが出来る事を考えながら準備した材料を使って、祖父母の方と一緒に完成させて、プレゼントとして持ち帰っていただきました。園でのお孫さんの様子を見ていただく良い機会となりました。



2023年(令和5年)11月1日

さかしたタイムズ
ときめき・かがやき・つながる さかした



花馬祭りが盛大に開催されました

八百余年の伝統
県重要無形民俗文化財

10月8日(日)、花馬祭りが4年ぶりに開催されました。前日には、下組から1頭の花馬が3本の花串を背負って坂下神社に参詣する神楽が行われました。また、前夜祭として、きりら坂下駐車場で「月の市」と、きりら坂下木曾川対岸で「やさかふるさと花火大会」が開催され、多くの人でにぎわいました。

祭り当日は、あいにくの雨模様となりましたが、花馬祭りは予定どおり開催され、今年は、坂下地区出身で歌舞伎俳優の市川 笑三郎さんが、花馬行列と花奪り後の一石投餅に参加くださり、花馬祭りを盛り上げていただきました。坂下神社には以前のように多くの見物客が訪れ盛況に祭りを開催できました。



市川 笑三郎さん



還暦の会の皆さんからのご寄付

今年度も還暦実行委員会(昭和38、39年生まれ還暦を祝う会 会長 林 新平)から下記のとおり13の施設や団体に、ご寄付をいただきました。ありがとうございました。

○寄付先と金額

- ・やさかこども園 50,000円
- ・坂下小学校 50,000円
- ・坂下中学校 50,000円
- ・国保坂下診療所 30,000円
- ・坂下老人保健施設 30,000円
- ・県立坂下高等学校 30,000円
- ・坂下まちづくり協議会 30,000円
- ・やさか青少年健全育成推進市民会議 30,000円
- ・NPO法人やさかイキイキ倶楽部 20,000円
- ・消防団坂下分団 20,000円
- ・坂下花馬保存会 20,000円
- ・社会福祉協議会坂下支所 30,000円
- ・やさかふるさと花火大会実行委員会 20,000円
- 合計 410,000円

花串作り体験



9月21日(木)、坂下小学校で花馬保存会(会長 吉村俊廣)による、小学校3年生を対象とした花串作り体験が行われました。

当日、児童たちは、保存会の方たちの指導を受けながら、色紙にこよりを通して竹串に付け花串を作り、花馬をイメージした、わら馬が背負った鞍に花串を刺して花馬を作りました。

参加した児童からは、「花串を作ることが楽しかったです。また、作りたいです。」「花馬祭りにぜひたいに行きます。」などの感想がありました。

《 11月の主な行事 》

日曜日	行事名	時間	場所
2	木 坂下文化祭(4日まで)		
3	金 第2回咲明日高校マルシェ	10:00～14:00	坂下高校体育館
9	木 いきいき元気教室	13:30～14:30	坂下公民館
15	水 行政・人権相談	13:00～15:00	坂下総合事務所第2庁舎
21	火 がん検診(予約が必要です)	8:30～11:00	あおぞら
23	木 第49回柁の湖駅伝大会	9:15～12:00	柁の湖広場
24	金 定例区長会	13:30～	坂下総合事務所第2庁舎
	献血(400ml限定)	14:00～16:00	あおぞら
26	日 ひまわりの会チャリティバザー	11:00～14:00	坂下総合体育館
	坂下歌舞伎公演	13:00～	坂下公民館
30	木 やさか地区農業委員会	9:00～	坂下総合事務所
	農地相談	9:30～	

慶弔のお知らせ

9月11日から10月10日の
坂下総合事務所への届出分

○ご誕生 (敬称略)	
氏名	(性別) (保護者名)
糸井川 瑛翔 男	(裕也) 相沢
●ご逝去	
原 保 (97歳)	大門
曾我 晶子 (74歳)	下外
弓谷 きよ子 (91歳)	旭町
牧野 ひで子 (92歳)	西方寺
園原 ひさよ (98歳)	東町
田原 俊一 (75歳)	乙坂
市岡 修一 (87歳)	中之垣外

編集・発行

中津川市 坂下総合事務所
電話 0573-75-2111
FAX 0573-75-4704
Mail sakashita-office@city.nakatsugawa.lg.jp

ごみの収集日

人口と世帯数

燃えるごみ	毎週 月・木曜日
燃えないごみ	11月1日(水)
資源・硬質ごみ	11月8日(水)
大型ごみ	11月17日(金)
有害ごみ	11月の収集はありません

人口	世帯数
4,087人(前月比増減なし)	1,664世帯(前月比 2世帯減)
男 1,980人、女 2,107人	

● **がん検診を受けましょう！**（予約が必要です）

会場	日にち	受付時間	胃	大腸	前立腺	肝炎	子宮	乳
坂下総合事務所 第2庁舎	11月21日(火)	8:30~11:00	○	○	○	○	○	○

■料 金：1項目につき 700円

■対 象：中津川市に住民票がある方

- ・胃・大腸がん検診—40歳以上の男女
- ・前立腺がん検診 —50歳以上の男性
- ・B型・C型肝炎ウイルス検査—30歳以上の男女
- ・乳がん検診 —30歳以上の女性
- ・子宮頸がん検診 —20歳以上の女性

★ 申込/お問い合わせ 坂下健康福祉会館「あおぞら」 TEL70-1016



こちらからは24時間Webでの申し込みが出来ます。
検診は健康づくりの第一歩！



献血は生命をつなぐボランティア

400ml献血にご協力をお願いいたします！

日時：11月24日(金) 14:00~16:00 受付

場所：坂下健康福祉会館あおぞら

※ご協力いただいた方には
美濃坂下ライオンズクラブ様より
卵のプレゼントがあります。



ひまわりの会からのお知らせ

やさか地区ひまわりの会では、下記の予定で、チャリティーバザーを開催します。
みなさまのご協力をお願いします。

○日時：11月26日(日) 11:00~14:00
○場所：坂下総合体育館

○申込/お問い合わせ
やさか地区ひまわりの会
会長 安江 美紀 事務局 池田
TEL 75-4014 安江方

**学び違いカフェ
「桜花(おはな)サークル」受講生募集**

日本の伝統「いけばな」の基本を学びながら、飾る場所や器に捉われず、季節感や生活空間に合わせて、自由に花を楽しみましょう！

- 講師：石田 夕雲 先生
- 日時：11月~3月第4日曜日(11月のみ第3日曜日) 全5回
- 場所：坂下公民館中会議室
- 受講料：1,500円(5回分) ※初回に集めます。
- 材料代：花代 約1,500円/回
- 申し込み方法：坂下公民館(75-3115)へお申し込みください。



↑ 桜の湖そばの花畑ウォークの皆さん

**桜の湖そばの花まつり2023in
月の市が開催されました**



9月17日(日)~9月24日(日)、桜の湖自然公園で、桜の湖そばの花まつり2023in月の市が開催されました。期間中、そばの花は見頃をむかえ、フォトコンテスト、絵がみコンテスト、熱気球体験などの様々なイベントが行われ、会場には多くの人が訪れました。
また、9月24日(日)には、桜の湖自然公園周辺をコースとした、桜の湖そばの花畑ウォークが開催され、やさかイキイキ倶楽部会員やスポーツ少年団員の小中学生が参加され、満開のそばの花を觀賞しながらウォーキングを楽しみました。

郷土文化財紹介

郷土文化財保存会会員

たぐち のりいち
田口 憲一

＜百年前の輸送機関 飛騨索道のこと2＞

索道建設工事の前には通過地点の地元の理解が必要ですが、現在の様な保障問題などの記録は見つかりません。付知町の広野林では、高いところを通せとの要望があり、ここの駅だけは2階建てになっていました。

沿線の町村には踏み荒らし料として1円、櫓(やぐら)の敷地には年貢として坪9合~1升5合、道路との交差点には落下物防護の安全施設建設費1,500円の支払いが決められていたそうです。(『加子母の歴史と伝承』より)

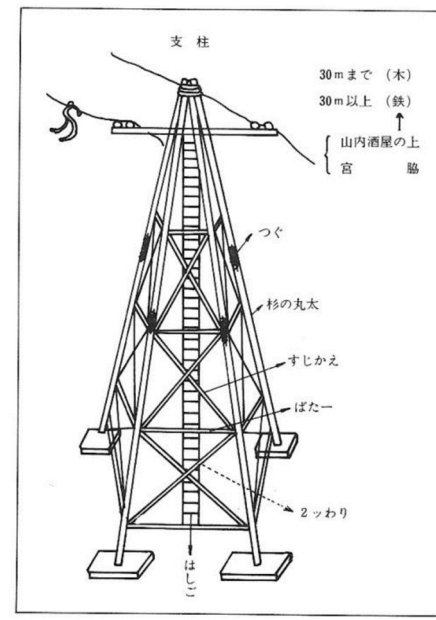
ワイヤーロープを支える櫓はおおよそ100~150m間隔に、急斜面では50m位と狭く建てられ、ほとんどは木製でコンクリートの基礎の上に木柱を立て、筋交いなどは半割したのを使用しました。

高さは地形によって一定ではなかったが、おおよそ10m前後だった様です。高いところでは柱を継いでいました。谷超えの所では30m以上の鉄塔でした。高い鉄塔にしたのは径間が長くなるためロープの弛みが大きくなり、櫓に掛かる荷重も増えるため頑丈な物にしたのでしょう。上野の小野沢と、田瀬の上田瀬・芝ヶ瀬にその遺構が残っています。

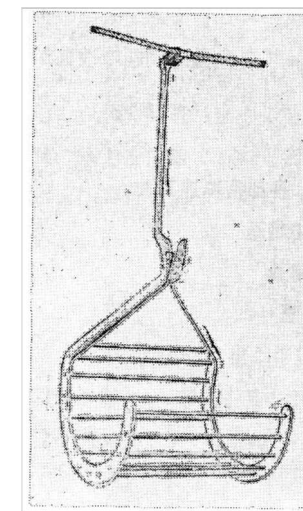
3カ所にあった、ワイヤーロープを動かすための原動機に電力を供給したのは、それぞれの中継所の近くで発電していた木曾電気の川上発電所、東白川村村営発電所と瀬戸発電所工事用電源として建設した竹原川発電所でした。竹原川発電所以外は地域の夜間照明用に発電していたので昼間は送電できました。

飛騨索道の形式は、単線自動循環式貨物索道だったと考えられます。この形式は荷物を載せる搬器を支えるロープと、搬器を移動させるロープが同一のもので、輸送能力100トン未満の比較的小さい索道に採用されました。技術的な記録・資料が少ないので写真などから推測しました。①、②、③の写真3枚は同形式の例です。

一つの区間では、その一端に原動機と繋がった大きなプーリー(溝車)がロープを動かし、もう一端には大きなプーリー(溝車)が摺動台(しゅうどうだい)に載せてあり常に錘(おもり)で引っ張って全体を弛みを調整する様になっていました。JA坂下支店の東側に錘をぶら下げた穴があったと聞きました。(摺動部：機械同士がすれ合う部分)



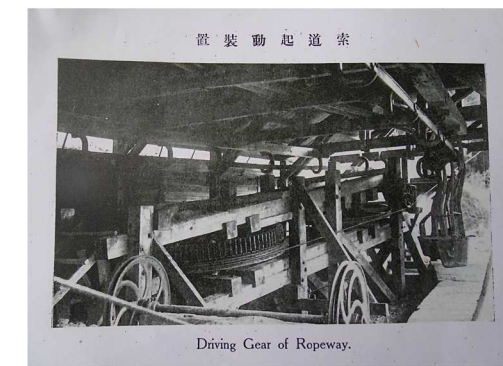
↑ 木製の櫓(「ふるさと坂下」より)



↑ 搬器(リフト)の例①



↑ 橋上部の例②



↑ 索道起動装置の例③



毎月第3日曜日は「家庭の日」 中津川市青少年健全育成推進市民会議

・いじわるや なかまはずれは ないですか